

## 「鉄道津波対策・観光地防災プロジェクト」の紹介

「鉄道津波対策・観光地防災プロジェクト」では、鉄道乗車中に津波が発生した際、土地勘のない観光客でも迅速に避難できる環境整備を目的としています。和歌山県内にはさまざまな観光地がある中、南海トラフ地震の発生想定を踏まえ、安全・安心で災害に強い観光地形成とともに、犠牲者ゼロを目指すことで、発災後の観光地復興の迅速化にも貢献できると考えています。毎年11月4日「鉄道津波対策サミット」では能登半島地震での避難誘導の成果と課題を共有しました。3月10日の実車を用いた降車訓練では車椅子利用者の避難検証を、翌11日には地域資源を学習しながら列車からの避難も学習する「鉄學」プログラムも実施しました。これらを通じて全国の鉄道事業者との連携・協力体制、ネットワークを構築しています。今後も、訓練参加者からの要望に基づき、夜間における避難の検証など、より実践的な活動を展開する予定です。

